



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マクニカ

コード番号 7631 URL <http://www.macnica.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中島 潔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 佐野 繁行

TEL 045-470-9870

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	143,195	0.2	5,428	15.1	5,428	11.3	2,674	△17.9
23年3月期第3四半期	142,913	29.0	4,715	96.0	4,877	96.0	3,259	159.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,753百万円 (△26.0%) 23年3月期第3四半期 2,369百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	151.08	—
23年3月期第3四半期	184.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	105,989	60,806	56.3
23年3月期	103,305	59,719	56.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 59,659百万円 23年3月期 58,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年3月期	—	20.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	6.1	7,000	10.1	6,400	0.1	3,480	△22.3	196.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	18,110,252 株	23年3月期	18,110,252 株
24年3月期3Q	406,963 株	23年3月期	406,749 株
24年3月期3Q	17,703,429 株	23年3月期3Q	17,703,631 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(5) セグメント情報等.....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後のサプライチェーン復旧を背景に製造業の生産や販売が急回復をみせたものの、海外経済の減速や円高に加え、タイの洪水の影響もあり、秋以降、輸出がアジア向けを中心に減少しました。また、それに伴い、製造業を中心とした生産が減速傾向となり、企業の設備投資も停滞、個人消費におきましては消費マインドの改善が一服するなど、景気全体としては本格回復には至りませんでした。

当社の属するエレクトロニクス産業におきましては、スマートフォンやタブレットパソコンが好調を持続し、モバイルコンピューティング関連を中心とした携帯電話市場、コンピュータ市場は堅調に推移しました。民生機器市場は、薄型テレビが先進国の普及一巡を背景に減少したものの新興国需要に支えられ全体としては堅調に推移、デジタル・スチル・カメラは震災に伴う生産調整に加えタイ洪水の影響もあり本格回復には至りませんでした。産業機器市場は、中国の金融引き締めの影響などにより一部減速がみられたものの、先進国の更新需要、新興国における自動化ニーズを背景に堅調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は143,195百万円（前年同四半期比0.2%増）、営業利益は5,428百万円（前年同四半期比15.1%増）、また経常利益は5,428百万円（前年同四半期比11.3%増）、四半期純利益は2,674百万円（前年同四半期比17.9%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(集積回路及び電子デバイスその他事業)

当事業におきましては、一部海外向け通信装置が減少したものの、スマートフォンの拡大により、通信量の増加に伴った通信設備の増強を背景に同設備向けPLDやASSPが堅調に推移し、また、携帯端末向けASSPも伸長したことから、通信市場向けは堅調に推移しました。コンピュータ市場は、欧州経済の悪化やタイ洪水の影響により、ノートブックパソコン向け電池パック用アナログICやストレージ向けASSPが低調に推移しました。民生機器市場は、デジタル・スチル・カメラ向けのアナログICが震災やタイ洪水の影響により減少したことに加え、台湾の液晶パネルメーカー向けビジネスの終息により、減少しました。一方、産業機器市場は、自動車向けが震災やタイ洪水の影響を受けたものの、昨年からの景気回復に続き震災影響による駆け込み受注を受けて幅広い分野向けにPLDやアナログICが好調に推移しました。これらの結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は133,336百万円（前年同四半期比0.3%減）、営業利益は4,312百万円（前年同四半期比10.1%増）となりました。

(ネットワーク事業)

当事業におきましては、スマートフォンの拡大による通信量増加に伴い通信設備向けスイッチボードが堅調に推移しました。また、クラウド・コンピューティングの普及と、事業継続対策としてデータセンターの需要が拡大するなど、同設備向け通信機器が堅調に推移しました。一方、企業向けソフトウェアは、新規大型案件の需要減により低調に推移しました。これらの結果、同事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は9,860百万円（前年同四半期比7.6%増）、営業利益は1,419百万円（前年同四半期比7.1%増）となりました。

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,684百万円増加して、純資産は1,087百万円増加し、自己資本比率は56.3%となりました。

キャッシュ・フローの状況に関しましては、税金等調整前四半期純利益5,009百万円、たな卸資産の減少及び仕入債務の増加等の増加要因があったことにより、営業活動によるキャッシュ・フローは11,380百万円の増加となりました。また、投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び関係会社株式の取得並びに貸付けによる支出等により、1,401百万円の減少となり、財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入金の返済を行ったことにより、1,764百万円の減少となりました。

以上の結果により、当第3四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ7,937百万円増加し、また子会社の新規連結に伴う増加額66百万円を加えることにより、19,914百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、タイ洪水の影響は薄れるものの、海外景気の減速や円高による輸出の低迷持続など、依然不透明な状況が予想されます。業績予想につきましては、平成23年10月26日発表の平成24年3月期の通期業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(「1株当たり当期純利益に関する会計基準」等の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、この変更による影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,910	19,914
受取手形及び売掛金	35,665	35,534
有価証券	622	579
商品	35,491	30,340
その他	5,474	6,204
貸倒引当金	△133	△109
流動資産合計	89,031	92,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,153	3,079
機械装置及び運搬具(純額)	24	20
土地	3,866	3,866
その他(純額)	913	933
有形固定資産合計	7,958	7,899
無形固定資産		
のれん	1,770	1,598
その他	1,361	1,056
無形固定資産合計	3,131	2,655
投資その他の資産		
投資有価証券	1,160	1,194
その他	2,206	1,882
貸倒引当金	△182	△106
投資その他の資産合計	3,184	2,970
固定資産合計	14,274	13,525
資産合計	103,305	105,989
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,184	18,412
短期借入金	11,500	7,500
未払法人税等	1,409	1,117
賞与引当金	1,381	672
役員賞与引当金	32	24
その他	6,636	6,841
流動負債合計	36,143	34,568
固定負債		
長期借入金	4,500	7,500
退職給付引当金	2,288	2,442
役員退職慰労引当金	432	416
その他	220	254
固定負債合計	7,442	10,614
負債合計	43,585	45,182

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,194	11,194
資本剰余金	19,476	19,476
利益剰余金	30,419	32,462
自己株式	△1,089	△1,089
株主資本合計	60,000	62,043
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△30	△37
繰延ヘッジ損益	△85	△57
為替換算調整勘定	△1,407	△2,288
その他の包括利益累計額合計	△1,523	△2,383
新株予約権	20	47
少数株主持分	1,221	1,099
純資産合計	59,719	60,806
負債純資産合計	103,305	105,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	142,913	143,195
売上原価	122,633	121,860
売上総利益	20,279	21,335
販売費及び一般管理費	15,563	15,906
営業利益	4,715	5,428
営業外収益		
受取利息	14	21
為替差益	96	172
貸倒引当金戻入額	—	46
その他	344	113
営業外収益合計	455	353
営業外費用		
支払利息	178	173
債権譲渡損	64	134
その他	49	46
営業外費用合計	293	353
経常利益	4,877	5,428
特別利益		
固定資産売却益	3	0
投資有価証券売却益	—	37
その他	32	—
特別利益合計	35	37
特別損失		
関係会社株式評価損	—	425
その他	126	32
特別損失合計	126	457
税金等調整前四半期純利益	4,787	5,009
法人税、住民税及び事業税	1,445	2,292
法人税等合計	1,445	2,292
少数株主損益調整前四半期純利益	3,341	2,716
少数株主利益	82	42
四半期純利益	3,259	2,674

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,341	2,716
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	△5
繰延ヘッジ損益	438	28
為替換算調整勘定	△1,420	△985
その他の包括利益合計	△971	△963
四半期包括利益	2,369	1,753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,371	1,815
少数株主に係る四半期包括利益	△1	△61

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,787	5,009
減価償却費	848	895
受取利息及び受取配当金	△19	△22
支払利息	178	173
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,051	△2
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△10,236	5,226
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,091	3,434
その他	2,142	△698
小計	△8,259	14,016
利息及び配当金の受取額	29	32
利息の支払額	△211	△216
法人税等の支払額	△985	△2,451
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,427	11,380
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△469	△198
有価証券の売却による収入	677	171
貸付けによる支出	△419	△473
貸付金の回収による収入	110	176
有形固定資産の取得による支出	△1,423	△451
無形固定資産の取得による支出	△406	△153
投資有価証券の取得による支出	△17	△8
投資有価証券の売却による収入	174	54
関係会社株式の取得による支出	△2,352	△535
その他	△96	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,223	△1,401
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,500	4,967
長期借入れによる収入	7,500	3,000
長期借入金の返済による支出	△12	△9,000
配当金の支払額	△529	△618
少数株主への配当金の支払額	△73	△54
その他	△182	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,201	△1,764
現金及び現金同等物に係る換算差額	△746	△277
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,194	7,937
現金及び現金同等物の期首残高	15,044	11,910
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	66
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	117	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,967	19,914

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	集積回路及び電子デバイスその他事業	ネットワーク事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	133,767	9,146	142,913	—	142,913
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	17	17	—	17
計	133,767	9,163	142,931	—	142,931
セグメント利益	3,915	1,325	5,240	—	5,240

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	集積回路及び電子デバイスその他事業	ネットワーク事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	133,336	9,859	143,195	—	143,195
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1	1	—	1
計	133,336	9,860	143,197	—	143,197
セグメント利益	4,312	1,419	5,732	—	5,732

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,240
セグメント間取引消去	92
全社費用(注)	△617
四半期連結損益計算書の営業利益	4,715

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,732
セグメント間取引消去	101
全社費用(注)	△405
四半期連結損益計算書の営業利益	5,428

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。